

8/29
(火)

一夜限りのはかない花

真夏の夜の白い大輪

8月29日、飯尾常久さん（唐隈）宅の庭で育てているドラゴンフルーツの花が咲きました。

熱帯植物で長島町の気候では越冬が難しいドラゴンフルーツですが、飯尾さん宅にはたくさんのドラゴンフルーツの花が咲いていました。

この花は一夜限り、数時間花が咲くとしおれていきます。直径は約30センチほどでゴージャスな白色の花と香りを楽しめます。

花は新芽から咲くことはなく、一昨年以上に芽を出した茎から花のつぼみが出てきます。つぼみは20日ほどで一晩だけ数時間花を咲かせてし



ドラゴンフルーツの花(手前)、果実(奥)

おれ、その後40日ほどで深紅色の果実になります。

飯尾さんは「毎年ひと夏の楽しみです」と話しました。

ドラゴンフルーツはゼリー状の果物として美味しくいただけるそうです。

8/30
(水)

大規模災害時の相談業務応援

災害時の手続きをスムーズに

8月30日、大規模災害時における相談業務などの応援に関する協定書の調印式が行われました。

この協定は、県行政書士会の社会貢献活動の一環となり、町内で大規模災害が発生した際、県行政書士会に協力要請することにより、行政書士会員を派遣し、被災者支援共済窓口の開設や被災者支援制度、生活再建に必要な申請書類の作成補助などを協力して被災者の生活支援に寄与することを目的としています。

川添町長は「災害時は行政手続きがスムーズに行えない可能性があり、今回の協定を結ぶことで、



調印式の様子

専門の行政書士の皆さまに応援をいただけることを大変ありがたく感じている」とあいさつしました。

9/3
(日)

令和5年度獅子島化石調査

獅子島は化石の宝庫

9月3日、令和5年度獅子島化石発掘調査報告会が町開発総合センターで行われました。

今回は獅子島で3カ所目となる骨の化石の密集層「第3のボンベッド(BB)」を発見。獅子島が重要な化石の産地であると改めて周知する報告会となりました。

8月29日～9月2日の期間、島東部の海岸(第1・2のBB周辺)で調査が行われ、調査員には、大阪市立自然博物館外来研究員の宇都宮聡氏と東京都市大学の中島保寿教授と学生計5人が参加し



発掘調査の様子

ました。第1のBB周辺には白亜紀の地層が分布し、その中から今回の第3のBBが発見され、亀の背甲化石や爬虫類の歯の化石などが発掘されました。